

2020年8月期第3四半期 決算説明会資料

2020年7月15日

株式会社エヌ・ピー・シー
代表取締役社長
伊藤 雅文

2020年8月期 第3四半期の業績

連結損益計算書

(単位：百万円)

	2019年8月期				2020年8月期					
	第3四半期 (実績)		通期 (実績)		第3四半期実績 (実績)			通期 (予想)		
	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)	金額	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	3,334	100.0	6,878	100.0	3,806	100.0	14.2	8,234	100.0	19.7
売上総利益	1,007	30.2	1,662	24.2	1,055	27.7	4.8	1,872	22.7	12.6
販売管理費	711	21.3	975	14.2	686	18.0	△3.5	1,059	12.9	8.6
営業利益	296	8.9	686	10.0	369	9.7	24.7	813	9.9	18.5
営業外収益	3	0.1	4	0.1	12	0.3	300.0	0	0.0	△100.0
営業外費用	26	0.8	32	0.5	14	0.4	△46.2	30	0.4	△6.2
経常利益	272	8.2	659	9.6	367	9.6	34.9	783	9.5	18.8
特別利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	272	8.2	659	9.6	367	9.6	34.9	783	9.5	18.8
親会社株主に帰属する当期純利益	268	8.0	680	9.9	353	9.3	31.7	707	8.6	4.0

(注) 2020年8月期通期 (予想) は2019年10月9日に発表した金額です。また、前期比はその増減比です。

■ 売上高

大型案件はほぼ予定通り売上計上してきた。
小さな案件の増減があり、やや期初の計画を上回る結果となった。

■ 売上総利益

売上総利益率は概ね期初の計画通りとなった。
増収したことに伴い、売上総利益もやや期初の計画を上回る結果となった。

■ 販売管理費

期初の計画よりも減少傾向になった。その主な要因は以下のとおり。

人件費（作業効率の向上等）、貸倒引当金（実績率の改善・債権の減少等）
租税公課（外国向け税金の未発生）、研究開発費（費用発生のタイミングずれ）
旅費交通費（コロナの影響で出張の減少）

■ 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

増収したことに加え、販売管理費が減少し、期初の計画より増益となった。

第3四半期は全体としてやや期初の計画を上回って進捗した

2020年8月期 第3四半期決算概要 装置関連事業

(単位：百万円)

	2019年8月期		2020年8月期		
	第3四半期（実績）		第3四半期（実績）		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)
売上高	3,005	100.0	3,415	100.0	13.6
売上総利益	862	28.7	876	25.7	1.6
販売管理費	261	8.7	241	7.1	△7.7
営業利益	601	20.0	635	18.6	5.7

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比はその増減比です。

■ 売上高

- 主要顧客である米国の太陽光パネルメーカーへ予定通り生産、出荷、売上計上し、安定的な取引を継続。
- 太陽電池業界以外では、主に自動車業界へ車載部品の組み立て装置、電子部品業界へ搬送装置等を提供。
- 部品販売も堅調に推移。

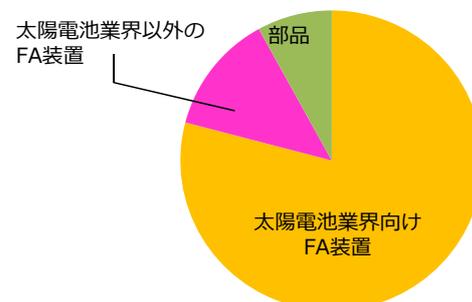
■ 売上総利益

- 適正な利益率を維持して安定的な利益を計上できている。

■ 販売管理費

- 研究開発費や租税公課等で全体的に減少傾向。

売上高の内訳



2020年8月期 第3四半期決算概要

環境関連事業

(単位：百万円)

	2019年8月期		2020年8月期		
	第3四半期 (実績)		第3四半期 (実績)		
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	前期比(%)
売上高	329	100.0	390	100.0	18.5
売上総利益	145	44.1	179	45.9	23.4
販売管理費	57	17.3	41	10.5	△28.1
営業利益	87	26.4	138	35.4	58.6

(注) 上記表中に含まれない全社費用が存在します。また、前期比はその増減比です。

■売上高

- 前期から工期が遅れていた太陽光発電所の検査を実施。
- 国内の産業廃棄物業者に自動パネル解体ラインの2ライン目を売上計上。
- 四国以外で排出されたパネルをパートナー企業と連携して中間処理した。

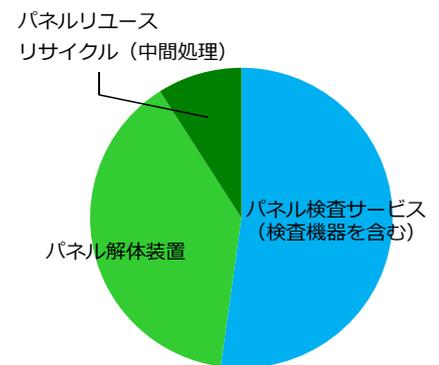
■売上総利益

- 検査サービス及びリサイクル共に、独自技術等を用いた付加価値が高い事業のため高利益率を維持。

■販売管理費

- 全体的に減少傾向で、特にコロナの影響で旅費交通費が抑えられた。

売上高の内訳



2020年8月期 第3四半期決算概要

受注高・受注残高

(単位：百万円)

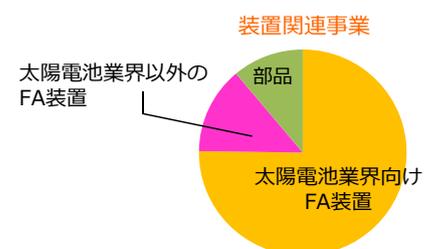
	2019年8月期 第3四半期		2020年8月期 第3四半期			
	受注高	受注残高	受注高	前期比(%)	受注残高	前期比(%)
装置関連事業	3,129	5,118	2,809	△10.2	6,886	34.5
環境関連事業	309	364	215	△30.4	114	△68.7
合計	3,439	5,482	3,025	△12.0	7,000	27.7

(注) 前期比はその増減比です。

■装置関連事業

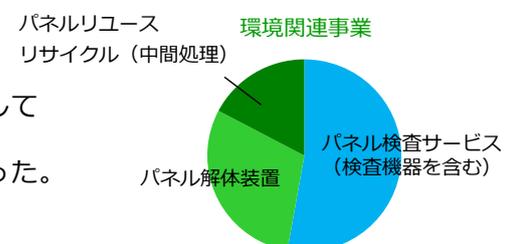
- 米国の太陽電池メーカーから既設ラインの増設を中心に受注。
- 米国向け住宅用等の特殊太陽光パネルのための装置を受注。
- 太陽電池業界以外のFA装置は半導体・電子部品向け搬送装置が好調。ただし、一部案件の進行に遅れが発生しているものがある。
- 部品受注は堅調を維持。

受注高の内訳



■環境関連事業

- パネル検査サービスが底堅く好調を継続。
- パネル解体装置は国内及び海外（欧州）ともにコロナの影響で時間を要している案件が発生。
- 足元で案件は増加しているがパネルリユースは第3四半期までは少なかった。
- パネルリサイクルでは松山工場では中間処理の受注を獲得。



2020年8月期 第3四半期決算概要 貸借対照表

(単位：百万円)

	2019.8末	2020.5末		2019.8末	2020.5末
資産	7,922	10,711	負債	1,501	4,059
流動資産	3,815	6,699	流動負債	1,480	4,030
現預金	719	2,055	買掛金・電子記録債務	879	2,022
受取手形・売掛金・電子記録債権	2,234	963	前受金	199	1,745
仕掛品・製品・商品	531	3,193	その他	402	263
原材料・貯蔵品	83	78	固定負債	20	28
その他	248	410			
固定資産	4,107	4,012	純資産	6,420	6,652
建物・構築物（純額）	2,260	2,147	資本金・資本剰余金	5,547	5,547
土地	1,548	1,548	利益剰余金	846	1,120
その他	299	317	その他	27	△15

■大きな変動要因について

- 第4四半期に売上予定の太陽光パネルメーカー向け大型ラインを順調に製造しているため「仕掛品」が増加。
- 仕掛品の製造のための仕入が先行して「買掛金・電子記録債務」が増加。
- 受注済案件に対する「前受金」の取得や、「受取手形・売掛金・電子記録債権」の回収等で「現預金」が増加。

■健全性について

- 現預金残高が高水準を維持。有利子負債ゼロ（無借金経営）を継続。
- メインバンク2行と借入可能額20億円のコミットメントライン契約を継続。
- 自己資本比率は62%と健全な経営状態を維持。

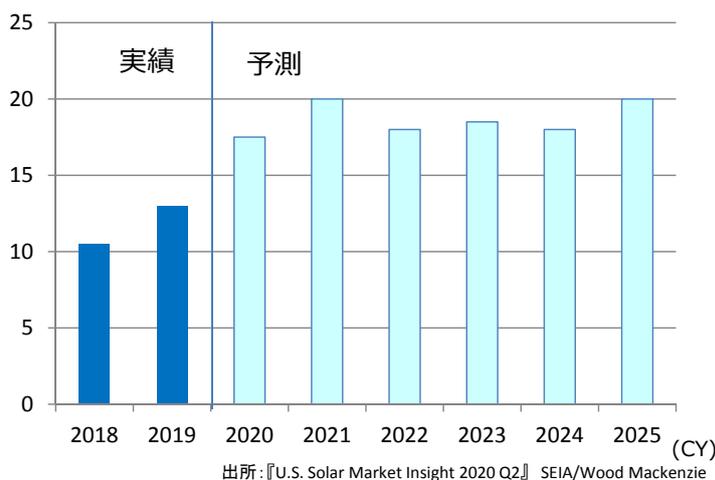
Copyright © 2020 NPC Incorporated. All rights reserved.

6

アメリカの太陽電池市場

■アメリカの太陽電池新規設置量：実績と予想

(GW)



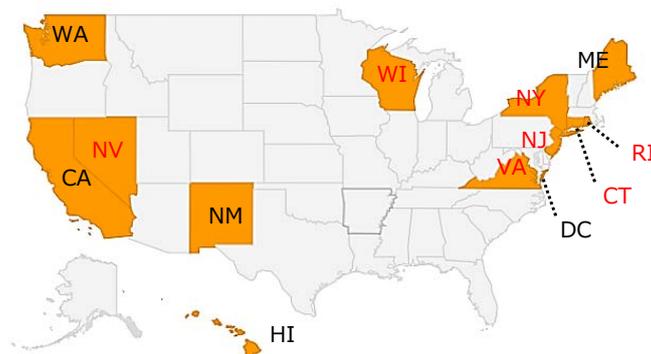
- 2020年は約17.5GWとなり、前年比35%増加する見込み
- 税額控除の税率変更（2021年:22% 2022年:10%）により2021年までに一部駆け込み需要が発生する見込み
- 蓄電池のコストダウンにより、2025年には住居用の1/3、非住居用1/4の割合で導入が見込まれる

■直近の状況（2020年第1四半期）

- 全ての新規発電設備のうち40%が太陽光
- 2020年1Qは設置3.6GW（過去最多）
新規の設置計画発表5.4GW

■各州や都市におけるRE100の法制度化

- 再生可能エネルギー100%の法整備：6→13の州・地域に拡大
(2019年10月時点→2020年3月時点)
- カリフォルニア州、ハワイ州、ニューメキシコ州、メイン州、ワシントン州、ワシントンD.C.
- コネティカット州、ネバダ州、ニュージャージー州、ニューヨーク州、ロードアイランド州、ヴァージニア州、ウィスコンシン州



その他13の郡、150以上の市でRE100%目標を宣言

出所：『100% Clean, Renewable Energy and Storage for Everything』 Mark Z. Jacobson

■今後の見通し

- コロナ後経済対策のための追い風の法案が下院を通過
- ✓ 再生可能エネルギーへの大規模投資を含むインフラ再構築支援
- ✓ 太陽光設置に対する税額控除期間の延長
- ✓ 再生可能エネルギープロジェクトへの民間投資支援
- 環境意識の高まりによるRE100法制度拡大
- 輸入太陽光パネル、セルへの関税（国内メーカーの保護）

Copyright © 2020 NPC Incorporated. All rights reserved.

7

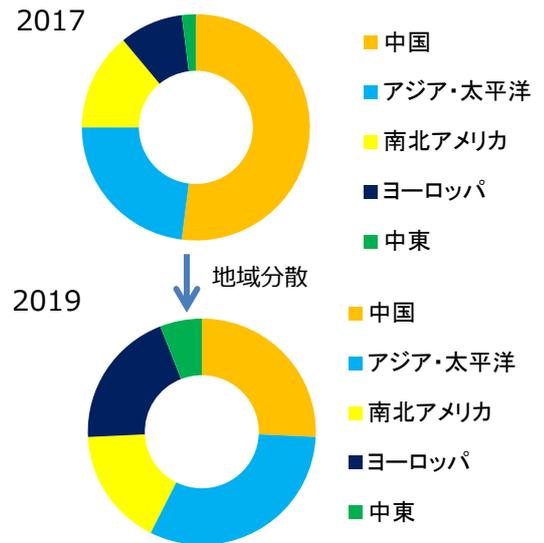
■ 世界の新規設置量 実績と予測



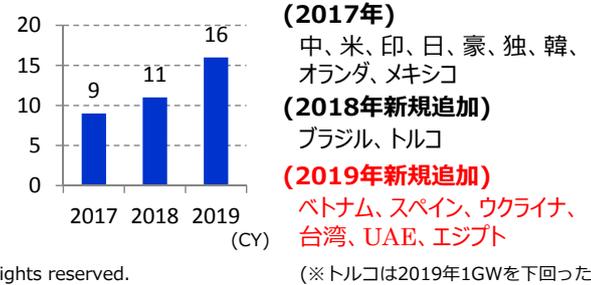
■ 設置量増加、設置地域の拡大

- 2019年は全世界で116.9GW（前年比13%増）過去最大の新規設置
- 太陽光発電のコストの継続的低下
- 気候変動への問題意識・クリーンエネルギー需要
- 地域的裾野の拡大
 - 中東・アフリカ：潜在的需要の大きい市場
 - ヨーロッパでの新規設置が回復（政策としての再生可能エネルギー導入、FITや税制改善などの要因）
- 2020年はコロナの影響（工期遅れ・人手不足）で当初予測より新規設置量が減る見込みだが、その後は継続的な成長が予測されている

■ 世界の新規設置量内訳



■ 新規設置量が1GWを超えた国・地域の数



Copyright © 2020 NPC Incorporated. All rights reserved.

装置関連事業

■ 主要顧客であるFirst Solar社の状況

- 米国拠点は3月後半～4月に一時的に生産が落ちたが生産量75%を維持し、現在はフル稼働している。マレーシアとベトナムではコロナの影響はなく通常どおりフル稼働している。
- 2020年5月7日時点のパネル受注残高は12.3GWとなっている。
- 2020年の出荷量は5.9GW（うちSeries6は5.7GW）を見込む。

(出所: First Solar Q1'20 Earnings Call Presentation 20200507)

■ 太陽電池業界向けFA装置

- 既存顧客においては、米国の住宅用特殊パネル向けの製造装置の需要が拡大。
- 複数の新規取引先とは、衛星用のプロジェクト等におけるパネル製造装置の商談が進んでいる。

■ 太陽電池業界以外のFA装置

- 多くの分野で真空技術を活用した『貼り合せ装置』の需要が増加。
- 5Gの需要を受けて電子部品・半導体関連の搬送装置が好調。
- 新型コロナウイルスの影響で、国内外とも主に自動車業界で客先都合により進捗に時間を要している案件が発生。

■ その他

- 米国では5月末から段階的に経済活動が再開し、顧客からの要望により、予定していた現地での改造とセットアップのため当社も6月からエンジニアを海外へ派遣。

Copyright © 2020 NPC Incorporated. All rights reserved.

■日本の太陽電池市場



太陽電池設置量は既に回復していて当面継続する見込み

- ✓ 運転開始期限が付けられたことで認定済未稼働案件の設置が増加
- ✓ 2021年予定のFIT抜本的改革前の駆け込み需要
- ✓ 価格下落に伴う自家消費需要の増加、住宅用設置の回復
- ✓ 環境意識の高まりによる需要の拡大



竣工前検査・定期検査が好調に推移



■環境関連事業のサービス実績 (2020年5月末累計)

サービス名	実績	今後の取り組み等
太陽光発電所検査サービス	2,140MW (パネル約760万枚分)	<ul style="list-style-type: none"> ・竣工前検査、定期検査の獲得 ・交流側における検査サービス範囲の拡充 ・検査サービスにおけるパートナー企業の拡大
パネルリユース	74,530枚	<ul style="list-style-type: none"> ・排出されるパネルの確保 ・海外向け販路の拡大
パネルリサイクル (中間処理業)	25,142枚	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物収集運搬業の範囲拡大 (現在は愛媛のみ) ・中間処理パートナー企業の拡大 ・多様な業界に向けたリサイクル装置の提供

Copyright © 2020 NPC Incorporated. All rights reserved.

10

第4四半期及び通期業績の見込み

第4四半期に売上計上予定の案件は全てほぼ予定通り進捗



具体的な第4四半期の状況

- 松山工場では太陽光パネルメーカー向け大型ラインを順調に生産し、出荷・売上計上予定 (FCA)
- 6月からエンジニアを派遣して現地 (米国、マレーシア等) での改造及びセットアップを再開

期初の段階から下期偏重 (特に第4四半期) を見込んでおり、通期業績予想に変更なし

全体として大きな影響は発生していない

事業面

- ・ 主要顧客であるFirst Solar社の事業や業績は順調。
- ・ 受注済案件に大きな影響はない。
- ・ 松山工場は通常通り稼働し、生産活動を継続している。
- ・ パネル検査サービスでは一時移動制限の影響を受けたが現在は解消済み。
- ・ 太陽電池業界以外のFA装置の商談中の案件で、客先都合により一部検討に時間を要しているものがある。

その他

- ・ 松山工場では、社員は通常勤務により生産を継続。
- ・ 東京本社の社員は在宅勤務と時短勤務により感染対策を講じながら支障なく業務を継続。
- ・ 米国、韓国の子会社は通常勤務を継続。

IRメールマガジンのご案内

IRメールマガジンで当社の最新情報をお知らせしています

IRメールマガジン登録のメリット

-  適時開示があった場合、速やかに情報を入手することができます。
-  月1回配信している「NPC通信」では最新の市場動向等をお知らせします。
-  不定期で開催している工場見学会等をメルマガ登録者に優先的に早期案内します。

上記以外のお知らせも都度配信しています

■登録方法

- ①当社社員にお声がけ下さい。当社で登録作業を行います。
- ②以下のURLから必要事項を記入の上、ご登録作業をお願いします。

<https://www.npcgroup.net/ir/mail-magazine>



NPCグループは、

「我々は、もの創りを通して、自然と社会と人間に必要とされる企業を目指します。」
という企業方針に則り、たゆまぬ技術革新の努力により創り出す製品を通じ、地球環境、地域社会等に貢献して参ります。

IR問い合わせ窓口

株式会社エヌ・ピー・シー

総務部 IR担当

電話 : 03-6240-1206

FAX : 03-5817-8835

E-Mail : npc.ir@npcgroup.net

<将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。